



第2740地区 創立/1990年9月29日 認証/1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長:岡 光正 / 副会長:芥川 圭一郎 / 幹事:馬渡 圭一



2025~2026年度クラブスローガン

例会に行こう

週報編集 / 公共イメージ・会報委員会:委員長 / 橋口 佳周 副委員長 / 倉科 聰一郎

委員 / 西村 浩輝、四元 清安、崎山 信幸、田中 啓輔、澤田 磨

本日の出席率 8.2% : 会員数 53名・出席 28名・欠席 9名・出席規定免除会員 13名・ビジター 2名
前々回の修正出席率 9.2.15% : 出席 31名・メークアップ 0名



会長挨拶 / 岡 光正君



皆様こんにちは。本日は、佐世保RCよりパストガバナー安部直樹様・同じくパストガバナー福田金治様にご来訪頂き誠に有難うございます。後程ご挨拶を頂きたいと思います。去る8月7日本曜日ホテルオークラJRハウステンボスに於きまして、

両パストガバナー主催の、RI第2740地区第5・6・7グループの会長懇談会に出席させて頂きました。その節は大変お世話になり有難うございました。私自身、他グループの会長様との交流、また、このグループの長い歴史について勉強出来た事、重ねて感謝申し上げます。

先週からの活動報告を致します。8月29日金曜日、会員増強委員会による、来週12日からの大阪RC、メークアップ推進事業の最終打合せを行いました。この後、藤井副委員長が皆様にお願いに上がると思います。9月2日火曜日、これも会員増強委員会による新入会員候補者との面談。今日の理事会に推薦状を提出致します。引き続き入会見込み者の情報をお願い致します。9月3日昨日、市内8クラブ会長幹事会が佐世保西クラブ担当で、中央公園内の NAKiRi café で開催しました。佐世保クラブの松尾会長より、第5第6グループ合同でのIMを5月に開催する予定、それに伴い佐世保中央RCと合同で実行委員会を開催したいと、協力の要請がありました。日程が決まり次第、戦略計画委員会宜しくお願ひ致します。

さて、今日は「平和」について考えたいと思います。「苦難を語り継ぐ」終戦から80年となった8月15日、政府主催の全国戦没者追悼式が日本武道館で開かれ、参列者が不戦の誓いを新たにしました。天皇陛下はお言葉で「戦中・戦後の苦難を今後とも語り継ぎ」との一句を新たに加え「私達皆で心を合わせ、将来にわって平和と人々の幸せを希求し続けていくことを願う」

と読み上げられました。これは8月6日の長崎新聞です。17,154分の40。これは何の数字だと思いますか。「本当に、いなくなる」という見出いで始まっています。現在、長崎市で語り部として活動している被爆者の数は40人。長崎市内の被爆者17,154人のうち、わずか0.2%です。平均年齢は86歳を超え、語り部を続ける被爆者に「あと何年、活動を続けられると思いますか?」と尋ねると「3年」「5年」「命の続く限り」「わからない」という答えが返ってきます。ここ数年で被爆者が、いつか本当にいなくなる。そのいつかは、迫っています。戦後80年のその先も。被爆者が守ってきたものが、続いていくように。私たちには何ができるもだろか。残された時間が、問いかけてきます。と書いてあります。とても考え深いものがあります。

私の祖父は、黒島から太平洋戦争に出征し、終戦の1年前1944年(昭和19年)7月8日にサイパン島で戦死しました。この年、アメリカ軍が爆撃機(B29)の拠点を築こうとサイパン島に上陸し、日本軍は4万3千人の守備隊で迎え打ちましたが全滅し、祖父もその一人を父から聞かされました。私は平和な日本に住み、平和ボケしているかもしれません。世界では悲惨な戦争が続いている国もあれば、隣国では大規模な軍事パレードがあります。私には、戦争を止める力はありませんが、これからも平和を願う気持ちを忘れずに、「苦難を語り継いで」生きたいと思います。

本日は、国際交流委員会担当の第2回クラブフォーラムになります。指山大委員長、川上委員長宜しくお願い致します。以上、会長挨拶とさせて頂きます。



本日のビジター紹介

* 佐世保RC パストガバナー 安部 直樹様
パストガバナー 福田 金治様

Report 幹事報告 / 馬渡 圭一君

1. 来信

ガバナー事務所

- ・米山記念奨学生卓話日程の件
11月27日 韓国出身 キムジョウンさん
- ・「地区職業奉仕 WEB ラーニング」参加のお願い
対象：職業奉仕委員、入会三年未満の会員

(^_~) ニコニコボックス

佐世保RC パストガバナー 安部 直樹様、パストガバナー 福田 金治様

本日はお世話になります。よろしくお願ひします。

岡正会長・芥川 圭一郎副会長・馬渡 圭一幹事

本日は佐世保RCより安部 直樹パストガバナー、福田 金治パストガバナーにご来訪頂いております。お忙しい中でのご来訪、誠にありがとうございます。

9月に入り少しずつ日暮れの時間が早くなりましたが、まだまだ暑い日が続いています。皆さまくれぐれもご自愛ください。本日9月4日は『関西国際空港開港記念日』。また『東京ディズニーシー』の開園記念日です。関空は1944年9月4日に世界初の海上空港、そして日本初の24時間営業の空港として開港し、ディズニーシーは、2001年9月4日に世界で唯一の海をテーマにしたディズニーテーマパークとして誕生しました。

さて、本日の例会は、国際交流委員会による第2回クラブフォーラムとなっております。本日の例会もよろしくお願ひ致します。

田雜 豪裕君、前田 真澄君

佐世保RCより安部 直樹パストガバナー、福田 金治パストガバナーのご来訪歓迎いたします。また、させほ夏祭り色々とお世話になりました。

八重野 一洋君

こんにちは、朝夕は少しだけ気温が下がりましたね私ごとですが、9月11日より22日のスケジュールでアメリカに住む娘夫婦の所へ家内と息子の三人で行って参ります。昨年のうちに来て欲しいと言わっていましたがもちろんロータリー活動、会長職を優先しました。ダラスでウェディングパーティー後、サウスカロライナの娘夫婦の自宅に5日程滞在、最後はニューヨークで少し観光して帰国します。11日、18日の例会はお休みさせていただきます。

芥川 圭一郎君

昨日、諫早へ行きました。「九州最大規模のゆめタウン」の建設現場を見ましたが、まだ基礎工事の準備の段階でこれから本格的に工事が進むようです。帰りには川棚を通りましたが、アーケードが撤去されていて少し寂しい雰囲気でした。四ヶ町商店街も負けずに頑張っていきます。

川上 仁哉君

本日はクラブフォーラムという事で、国際交流委員会の担当です。内容については寛大な心で聞いてい

ただければと思います。

本日の合計	10,000円
本年度の累計	375,000円



本日の卓話

◆第2回クラブフォーラム◆

国際交流委員会

姉妹クラブ締結について

姉妹締結の目的と意義

・国際理解と親善の促進

異なる国や地域のクラブ同士が交流することで、異文化への理解を深め、会員間の親睦を育みます。例えば、鹿児島ロータリークラブは、台湾やアメリカ、イタリア、韓国などのクラブと姉妹クラブを締結し、相互訪問を通じて友情を深めています。

・奉仕活動の連携

ロータリーが掲げるクラブ奉仕、地区奉仕、職業奉仕、国際奉仕、といった様々な奉仕活動において、協力してプロジェクトに取り組むための具体的な第一歩となります。共同で社会奉仕事業を行う例もあります。

・世界的なネットワークの活用

ロータリーは全世界に35,000以上のクラブを持つグローバルな組織であり、姉妹締結を通じてこのネットワークをさらに広げ、活用することができます。

日本のロータリークラブの事例

・鹿児島ロータリークラブ

鹿児島ロータリークラブは、国内外の多くのクラブと姉妹提携を結んでいます。例えば、台湾の台北西ロータリークラブ、アメリカのアトランタロータリークラブ、イタリアのナポリロータリークラブ、韓国のセ・ソウルロータリークラブなど、多岐にわたります。国内では、酒田ロータリークラブや下関北ロータリークラブ、小樽南ロータリークラブとも提携しています。これらの提携クラブとは、例会訪問などを通じて交流を深めています。

・その他の多くのロータリークラブ

他にも、日本の多くのロータリークラブが国内外のクラブと姉妹・友好提携を結んでいます。特に台湾のクラブとの提携が多く見られ、日本全体で381のクラブが台湾と姉妹・友好関係を持っています。例えば、熊本・大分地区では、山鹿ロータリークラブが韓国の晋州南江ロータリークラブと、阿蘇ロータリークラブが台湾の台北文山ロータリークラブと提携しています。

締結方法と活動内容

姉妹クラブの締結は、両クラブの役員と会員の合意に基づき、同意書を取り交わす形で行われます。

・締結プロセス

クラブ同士が相互に連絡を取り、話し合いを経て締結に至ります。過去には、国際情勢が複雑な時期でも、

仲介者を通じて手続きが進められた事例もあります。

・具体的な交流

締結後は、会員同士の相互訪問や文化交流が行われます。例えば、例会への参加、記念式典への招待、ホームステイを通じた児童交換プログラムなどが挙げられます。また、遠隔地のクラブとの交流では、オンラインでの連絡も活用されることがあります。

姉妹クラブと友好クラブの違い

姉妹クラブ (Sister Club)

- ・公式な協定を結ぶ
- ・長期的かつ継続的な交流を目的とする
- ・相互訪問、共同奉仕プロジェクト、青少年交換などを積極的に実施
- ・文化や言語の違いを超えて、深い信頼関係を築くことが重視される

友好クラブ (Friendship Club)

- ・姉妹クラブほど形式的ではないが、友好関係を築くことを目的とする
- ・協定は比較的柔軟で、交流の頻度や内容もクラブ間で調整可能
- ・一時的な交流やイベント参加など、ライトな関係性が多い

釜山蓮山ロータリークラブの姉妹締結

・1992年3月26日に姉妹締結

過去の訪問交流事例

◆ 2007～2008

- ・総勢14名のメンバーで参加しました。

創立17周年記念式典に参加してみると、席の配置も釜山蓮山RCのメンバーと同席になっていたり、通訳の方が全席に配置してあった。

式典終了後はそのまま閉会し、3班に分かれて3メンバーの家に訪問、それぞれの家で、蟹三昧や奥様の手料理をごちそうになり、皆で韓国の家庭生活に触れる事が出来た。私も17年間ほぼ、公式訪問には参加していますが、こういう歓迎は初めてで、金会長が私の日韓文化交流をとの希望に対して答えていただいた気持ちに改めて感動を覚えた次第です。

◆ 2008～2009

- ・総勢19名のメンバーで参加しました。

依然と変わっていた点がありました。式典のセレモニーの際に優良従業員の表彰があついて大変良い事だと思いました。公式訪問後のカラオケタイムでは、いつものパフォーマンスに始まり、川島千鶴君が釜山のヒロインになりました。2日目は、慶州の満開の花見と世界遺産観光と釜山蓮山RCメンバーとのゴルフと買い物組に分かれそれぞれ楽しみました。しかし帰りのバスで大変な事が起きました。バスの前に子供が飛び出して、バスが急ブレーキ、韓国の通訳さんと井上次期会長がバスの中で宙に舞ってしまいました。なんとか無事に帰国しました。

◆ 2010～2011

- ・総勢31名での訪問でした。事前の会議では、創立20周年の記念事業のラオス・スファヌボン大学の支援活動の報告が、主な内容でした。当時、東日本大震

災があり、日本側に配慮した形での式典を開催されていました。式典の中で、震災への義援金として200ドルを受け取りました。普通新入会員さんは、初参加の際には、緊張されると思いますが、宮崎正典君は、みごとな熟睡ぶりを披露されていました

◆ 2011～2012

・総勢19名での訪問となりました。交流として釜山蓮山RCのご夫人より、キムチ作りの講習会がありました。また、懇親会の際には、「すごろく」「コマ回し」「花札」と言った遊びも体験してきました。ルールは日本と一緒にでした。また、25周年記念事業の話も出ていました。式典の会場は、従来とは違った場所、トンドファンタジアコンドミニアムで開催されました。

◆ 2012～2013

- ・総勢17名の参加で訪問しました。

夜は素晴らしい例会に参加し、2次会に参加する予定でしたが、有志5名の誘惑に負けて、サロンと言う名の場所に宮崎委員長の「僕に任せて」の一言に身を委ねた結果、2万3千円の高い会費を払いました。佐世保の3000円スナックと何ら変わらない印象でした。その後部屋に戻ると、竹本君の人生論に深夜遅くまで付き合わされ散々な一日でした。

◆ 2013～2014

・マッコリの工場がある金井山へ桜の木の散策。鎮海軍港基地の桜並木道へ入ることが出来ました。また、夜はクルージングを楽しむことが出来ました。釜山蓮山RCとの会議では、5年ごとの調印式、2年に1回の交互に訪問するという内容で、了承して頂きました。また創立25周年でグローバル補助金プログラムでの事業を協力する事になりました。

◆ 2013～2014

・総勢8名での訪問でした。到着してランチに連れて行ってもらったのですが、誰も知らないような冷麺屋に連れていかれて、まずい500円の冷麺をおなか一杯と偽り、一口だけ食べました。そして、17時開かれた会議の中で、2年に1度の相互訪問を改めて確約し、5年ごとの姉妹クラブ締結調印式を行いました。記念式典の中でも改めて調印式のセレモニーを行い、溝上会長がどや顔で韓国語の挨拶を披露されていました。名札は間違われ、式典・懇親会後は、釜山蓮山RCクラブの会員は、そそくさといなくなり、2次会も誘いを受けましたが、丁重にお断りをし、若いもんで2次会を終えました。



SAA：筒井琢磨

次回例会 9月11日 18:30～

memo